

町内にはさまざまなコミュニティがあり、独自の活動をしています。そんな皆さんの活動やイベントをご紹介するコーナーがステイ・スマイル(笑顔のまま)です。

## Stay Smile 高原のアーティストを訪ねて

東に八ヶ岳、西に入笠山を仰ぎ見る、さわやかな高原の町、富士見。この地に生まれ、または惹かれて制作する、素敵なアーティストたちを紹介します。

【今月のアーティスト】 牛山 由実子(うしやま ゆみこ)さん プリザーブドフラワー作家・富士見町在住

牛山由実子さんは茅野市の出身。平成4年、ご主人の故郷での開業を機に、千葉県から富士見町に移住しました。ショップ兼スクールのアトリエ petit fleur ～風花舎～(プチフルール かざはなや)を主宰しています。プリザーブドフラワーは、生花を特殊な保存液に浸け、加工(プリザービング)したもので、花の鮮やかな色や美しさを長期にわたり保つことができます。ドライフラワーとは異なり、みずみずしく柔らかい質感が特徴です。牛山さんは2004年、プリザーブドフラワーに出会ったのをきっかけに、独学でプリザービングとアレンジを学びました。2010年には、FEJ(フラワーエデュケーションジャパン)所属のフレッシュ・ド・フルール主宰・堀美智子氏に師事。その後2012年にFEJのライセンスを取得。2015年1月にはアトリエが日本プリザービング協会のライセンス校に登録されました。

プリザーブドフラワーは、ブライダルブーケやウェディングヘッドドレス、花束など大切な生花を記念として残すことができます。また、お見舞いや贈り物、店内ディスプレイや供花など幅広く使われています。牛山さんはこうした用途に合わせ、花の特色を生かしながらアレンジをして作品に仕上げます。その作品は可愛らしくも気品があり、牛山さんの花への愛情を感じさせます。花を通じて、人と人との心を通わせることができたら嬉しいと語る牛山さん。今後はプリザービングの技術を活かし、町の花であるスズランの作品にチャレンジしたいと話します。また、花の産地である富士見町の生産者の方々と協同し、地元産プリザーブドフラワーを使ったアレンジの制作を考えているそうです。実現したら富士見町に新たな特産品、みやげ物ができるかもしれません。牛山さんの活躍がますます楽しみです。



◀アレンジ作品



◀プリザービング中のブルースターという花。花の青い色を脱色するホワイトニングという作業中。ひと月ほど時間がかかる



▲製作したブーケと一緒に

©牛山由実子

### 【Information】

牛山さんの作品は、petit fleur ～風花舎～(☎090-4161-6229/メール kazahanaya@excite.co.jp/住所:落合11212)でご覧いただけます。訪問される際は、事前にメールまたはお電話にてご連絡ください。ブログ: <http://ameblo.jp/tsukiusagi2701/> Facebook: <https://www.facebook.com/yumiko.ushiyama.1>

文: 前島孝一(小海町高原美術館館長・清里フォトアートミュージアム職員) 富士見町富士見在住  
facebook <https://ja-jp.facebook.com/koichi.maeshima.1>

## Stay Smile 「県制覇」を目標に

### 富士見中学校 男子バスケットボール部

富士見中学校男子バスケットボール部は1年生5人、2年生7人の計12人で「県制覇」を目標に日々の練習に励んでいます。僕たちのチームは、オールコートで相手に対し厳しいプレッシャーをかけるディフェンスをすること、攻守の切り替えを速くし、スピードのある速攻主体の走るオフェンスをすることを心掛けています。

新人戦では、諏訪大会4位、南信大会6位に入賞し、年末に行われた県大会に出場してきました。自分たちが目指してきたプレーが通用した面と通用しなかった面があり、課題が多く残る大会でした。県大会での課題を克服し、自分たちの強みをさらに高めていくことができれば、本番である夏の中体連では目標である「県制覇」に近づけると思います。

部活動で学んだことを、コート上だけでなく学校や家庭、地域での生活に活かしていきたいです。日頃お世話になっているコーチや先生方、保護者の方々、そして何より同じ目標に向かって共に努力している仲間への感謝の気持ちを忘れず、バスケットボールに思いっきり取り組めることに感謝して、これからの練習に全力で取り組んでいきます。(男子バスケットボール部部長 矢沢歩夢)



▲12月28日 新人戦県大会にて